

## 承久の乱の発端となった 女性ゆかりの神社

### ① 棕橋総社(庄本町1丁目)

鎌倉時代、後鳥羽上皇が寵愛した女性、亀菊。この地域に所領を持っていた亀菊は、幕府が命じた地頭と対立し、承久の乱に発展したといわれています。棕橋総社には、亀菊が崇拜した天満宮があります。



水と暮らしの  
関係を調べるぞ



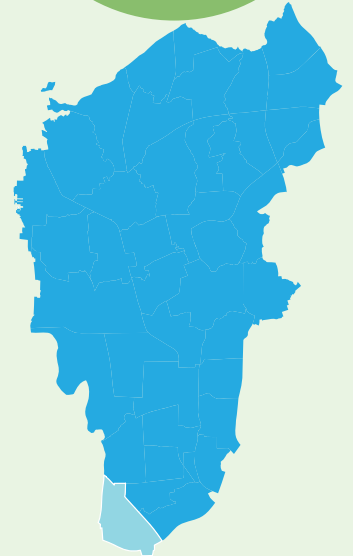
マチカネくんと歩く

# まちある記

第18回

水とともにあるまち  
庄本町から庄内宝町、二葉町、大島町へ

庄内西小学校区



## 水の平穏を願って

⑤ 洲到止八幡宮(大島町2丁目)  
水が豊かだったこの地域ですが、水は時に災害をもたらすことも。そこで、地域を水の災害から守るためこの神社が建てられました。秋には、布団太鼓が繰り出し、大変なにぎわいをみせます。



### ◎神崎川の南側にも豊中市

豊中市の境界といえば、南は神崎川と一般的に思われています。しかし、神崎川の南側にも一部豊中市の市域があります。この地域は大島町3丁目の一部となっていて、ここに住む生徒・児童は大阪市の学校に通うこともできます。



神崎川の南側にも遊歩道が整備されています

神崎川と旧猪名川に囲まれたこの地域。川とともに発展したため、水に関する史跡も多く残っています。また、奈良時代の僧・行基の伝説にはじまり、承久の乱や、赤穂浪士の萱野三平といった歴史に深い縁があります。

## 萱野三平のお墓が2つ!?

### 2 光國寺(庄本町1丁目)、新福寺(二葉町2丁目)

赤穂浪士の一員として有名な萱野三平。校区内にはそのお墓が2つあります。一つは光國寺で、三平の姉が同寺の住職に嫁いだ縁によるものです。もう一つは新福寺で、萱野家が江戸時代にこの地域を治めていた大嶋家の家臣であったことから、大嶋家の菩提寺である同寺にも置かれています。



光國寺



新福寺

### ◎水の豊かな町

かつては、大島町や二葉町の南部、現在の市道神崎刀根山線の辺りを川が流れていました。この地域には、畑に水を流すための樋門跡や、川の船渡し場があった浜跡など、水に関わる地域の歴史を、今に伝える碑が数多くあります。



昔は渡し船が運行されていました

### 歴史あるまちに建つ最新の研究棟

#### 3 塩野義製薬医薬研究センター(二葉町3丁目)

神崎川の畔にあり、平成24年(2012)の大阪まちなみ賞(大阪都市景観建築賞)で大阪府知事賞を受賞しました。ここでは最先端の医薬品の研究開発が行われています。



### 神崎川沿いの公園

#### 4 神崎川公園(大島町3丁目)

神崎川沿いにある下水処理場の屋上を利用した神崎川公園。ちびっこ広場や芝生広場、キャンプ用の敷地があり、市民の憩いの場となっています。



みんなでよく遊びに来ます! 芝生なので、子どもが走り回っても安心です

### ◎こい鯉伝説が残るまち

この地には、行基が猪名川に橋を架けようとした時に、無数のコイが背を並べて魚橋となり、工事を完成させたという「鯉伝説」が残っています。それ

庄本幼稚園では、鯉伝説を語り継ぐため、こいのぼりを作って掲げています



以降、庄本地区ではコイを捕ったり食べたりすることは禁じられ、神の使いとして大切にされるようになりました。

3 渡し場は市域に渡りか所あったんだよ

